



# 花火のおはなし



R6. 8. 19(月)



今日は、長崎市消防局より「花火をする時のおはなし(気をつけること)」について、にじ組の子どもたちを対象に、お話に来ていただきました。

夏の時期、花火をする機会もあるので、毎年あちこちの園でお話をして下さるそうです。

DVDを見た後は、地域の消防団の方より「もし、花火をしていて、洋服などに火が燃え移った時」を想定して、火を消す方法を実践で教えて貰いました。

万が一、火が洋服などに燃え移ってしまった場合には、「①ストップ→②ドロップ→③ロール」が大切だそうです。

大人も慌ててしまうので、知っておくといいなと思い、ちょっと、参考までに以下に記入させていただきますね。



「ストップ。ドロップ。ロール」の練習中です。



慌てて走り回ると、火元に、燃えるために必要な「酸素」を多く身に寄せてしまうことになります。まずは、慌てず「止まり」ましょう。



火が付いている所(火元)を地面に密着させて、転がります。「酸素」との接触を減らすためです。また、手に火がついていなければ、手で顔を覆います。「顔面のやけど」をできるだけ、防ぐためです。



最後に、花火屋さんから「花火の正しい遊び方」のお話を聞いて、実際に園庭で花火をしました。「正しい持ち方」を教えてもらい、火に気を付けながら…花火を楽しみました。



最後に、花火屋さんが、子ども達に花火を見せてくれました。色が次々に変わり、子どもたちも喜んでいました。

